

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

「ロータリーは分かちあいの心」



2007.10.1
NO.4
2007～2008年度

目 次

1. ガバナーメッセージ	1～2
2. 職業奉仕月間によせて	3～5
3. 米山学友の歴史について	6
4. 米山月間に寄せて	7～8
5. 新入会員紹介	9
6. 訃報	10
7. ポールハリスフェロー・米山功労者（8月分）	11
8. ハイライトよねやま	12
9. 文庫通信	13
10. 出席報告（8月分）	14
11. 10月行事予定表	15



4



ガバナー 平原 祥彰

10月は職業奉仕月間・米山月間

国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640

FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: http://www.rid2640g.org/hirahara/

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 平原 祥彰



残暑厳しい日が続いておりますが、皆様お元気でロータリー活動にお励みのことと存じます。

8月29日を初日にガバナー公式訪問に取りかかりました。一番に訪問するクラブは直前ガバナーの所属するクラブとの慣例があり河内長野東ロータリークラブを訪問いたしました。ガバナーを送り出したクラブとしてメンバーの皆さんの高い志を感じました。クラブのリーダー、ガバナー補佐の同行をいただきまして市長を表敬訪問いたしました。一時間近く、にこやかに表敬訪問は進みました。市内二つのクラブと市のトップとの親密なおつきあいを感じました。9月20日現在19のクラブの訪問が終了いたしました。56のクラブはこれからです。訪問では唯々生懸命なだけでどれだけ“私の思い”をお伝え出来たかよくわかりません。皆さんにアドバイスをいただきながら最後まで懸命につとめを果たしたいと念願しております。

各クラブはそれぞれに顔があり、特徴、個性ある活動をしております。クラブのメンバーの数に直接関係なく色々な工夫努力を重ね、クラブの活性化を計っております。その努力、工夫を拝見し大変力強く、また、たのもしく感じ、私自身励まされ、いい勉強をさせていただいております。

私は公式訪問を通じてクラブメンバーとお互いにロータリーの夢を語り合いたいと強く希望しております。

1つ1つのクラブ訪問したいと思いそのように皆さんにお願いをいたしました。各クラブの自主性、独自性にますます磨きをかけ停滞することなく、地域社会に一段と存在感を示し、楽しくロータリー活動にお励みくださいますよう強く願っております。

10月は職業月間です。又米山月間でもあります。9月16日、職業奉仕委員会議が開催されました。角谷委員長が職業奉仕について熱い委員長報告を1時間をこえて行いました。テーマは“職業奉仕とは何か”サブテーマは“職業奉仕の危機”でありました。出席の各クラブ職業奉仕委員長の要請により委員長報告の要旨をプリントして各クラブ送付することになりました。又、委員長に卓話をお願いしたいと云うクラブが多数ありこれに対し角谷委員長は時間のゆるす範囲で最大限要請に応えたいと表明されました。又、丸山副委員長、杉本昌史委員、近藤徳雄委員から各々20分程このお話がありました。

IM別チームディスカッションの中で各クラブ職業奉仕委員長は目からウロコの思いであること、この委員会は我々にとって重要な委員会であって職業奉仕こそロータリーの真髄である旨を知ったとの発言がありました。

この機会をとらえ、クラブメンバー各位が“職業奉仕とは何か”“職業奉仕の危機”とは何か大いに討論し実践の力にしてほしいと思います。クラブの委員長はこの委員長会議成果を確実にクラブの皆さんに伝えて活動をもり上げて下さい。

米山奨学事業は1952年東京ロータリークラブが米山梅吉氏の遺徳を記念して「米山基金」を創設したことが始まりです。現在では外国からの留学生を支援する国際奨学事業として“多地区合同奉仕”の活動として民間最大の奨学団体となっております。この事業を推進する資金はロータリアン各位の善意の寄付によってまかなわれております。

我が地区は皆様の御理解のお陰で常に安定して立派に事業を展開いたしております。本年度は29名の奨学生を支援しております。私は各ロータリアンに1人当たり20,000円の寄付をお願いいたしております。昨年度地区寄付の1人当たり平均は19,717円でありました。大変有難く心から感謝いたします。

私からお願いがあります。

クラブ周年記念事業として米山の寄付をクラブとしてお考えいただきたいのであります。金額の多少ではなくクラブの周年を祝い、さらに発展を願う記念にすべき行事に青少年の未来を考え、又国際理解をすすめるロータリークラブとして是非一考していただきたいと思います。



職業奉仕月間によせて

(決議23-34とは何か)



R I 2 6 4 0 地区 2007～08 年度
職業奉仕委員長 角谷 浩二

「職業奉仕とは何か」、これはロータリー活動における永遠のテーマではないかと思っております。そして、それを突き詰めていくと「ロータリーの奉仕とは何か」ということになります。これを端的に説明しているのが1923年の決議23-34号です。これはロータリー活動全般にわたる活動指針です。内容は6条に分かれており、6条目にはクラブとして団体奉仕活動をする場合の指針が7項目に分かれて示されております。非常に重要な決議文ですが少々難解な文章もありますので簡単に説明させていただきます。

第1条、ロータリーの思想。

ロータリーは利己の心（自分を最優先にしようと思う心）と利他の心（他人のために尽くそうと思う心）とが互いに葛藤を繰り返している。その葛藤を和らげるのが、奉仕哲学である“SERVICE ABOVE SELF”と職業奉仕実践理論の原理である“HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST”である、と記されております。この決議文（原文）が示された時期は、ロータリー運動において、ポールハリス、アーサーFシエルドンが唱える職業奉仕を基礎とする理念と、エドガーアレンが主張する人道主義的活動を中心とする理念が互いに主張しあい、ロータリー自体がどうにもならない混乱状態に陥った時期であります。そこでロータリーは両者の主張を調和するために決議文第1条において“SERVICE ABOVE SELF”「超我の奉仕」と“HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST”「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」が「ロータリーにおける二つのモットー」であると明示いたしました。適正な利益を適正に配分することによって、事業の発展と倫理高揚が得られるという職業奉仕のモットーが“HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST”、そして私たちが人間として、弱者に涙しながら、人道的奉仕活動をすべきだという社会奉仕のモットーが“SERVICE ABOVE SELF”、であります。ロータリーは決議23-34によって、クラブとR I との定義とそれぞれの役割、奉仕の実践に関する詳細を定め、両者の論争に終止符を打ったのであります。

このようにロータリーは決して一枚岩の思想ではありません。この他にも“SERVICE, NOT SELF”という思想もあります。このようにロータリーは古来より色々な思想が混在し現代に至っております。しかしロータリーは、それぞれが互いの思想を排除することなく、いつも「寛

容の精神」をもって、自分とは違う思想の存在を認めあい、そしてお互いが学びあってきたのです。

しかし、近年この二つの理念は、R Iの「決議23-34廃止論」のもと、1988年のシンガポール規定審議会でそれまで同格であった“HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST”が“SERVICE ABOVE SELF”の下の第二標語に格下され、2001年規定審議会では「ロータリー用語から性に関する表現の削除」という理由で決議23-34の文面から“HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST”の文字が抹消されました。

第2条、クラブの役割。

①例会において会員全員で奉仕理念を学ぶ。②地域社会において奉仕の実践例をクラブとして示さなければならない。これは奉仕の実践は個人が行うのが原則ではありますが、サンプルとしての実践例をクラブで示さなければならないのであります。③会員は個人として奉仕理念を実践に移さなければならない。④ロータリーの奉仕理念を一般の人々に受け入れてもらわなければならない。それには社会のニーズにあった実践が必要であり、ロータリアンだけが満足するような実践であってはならない。

第3条、国際ロータリーの役割。

(1) R Iは奉仕理念の育成、普及をしなければならない。(2) R Iはクラブの拡大、援助、管理をしなければならない。(3) R Iは情報の相互伝達、クラブ運営の標準化をしなければならない。この3つがR Iの主な役割であると記されております。しかしR Iは奉仕活動の実践例を提案することがあっても、「強制ではなく有益な助言を与える」と記されているように、R Iは奉仕活動の実践を押し付けることはできません。奉仕活動の実践はクラブ自治権の範疇にあり、R Iが提示してきたものを必ずしも実践しなければならないという義務はありません。クラブの「CLP」実践においてもR Iや地区が強制するものではなく、クラブに決定権があるのであって、実践するのもしないのもクラブの自由です。

第4条、ロータリーの奉仕とは何か。

これは口先だけの理論ではなく、ロータリアン個人も又、クラブとしても奉仕理論は行動をもって実践しなければならない。継続的奉仕活動以外の奉仕活動は当該年度内に終了するものが望ましい。そしてそれは地域ニーズに合った奉仕活動であり、クラブ会員全員の参加でなくてはならない。

第5条。ロータリークラブ自治権と国際ロータリーの関係。

ロータリークラブはR Iの定款、細則、綱領、クラブ定款に違反しない限り絶対的自治権、自主独立性を持ち、自由に活動を行なうことができる。R Iはクラブ自治権に対し、制約や禁止事項を設けてはならないことが明記されております。しかし、そうだからといってクラブが身勝手に行動するのではなく、R Iからの指導や助言、他クラブの実践例を謙虚に学ぶ姿勢を持たなければならないと思われまます。

第6条。ロータリークラブとしての社会奉仕活動に対して守るべき指針。

(1) ロータリーは地域の商工会議所等において地域のニーズを調べる必要がある。しかし、既にそのニーズの専門事業団体があれば邪魔や横取りをしてはならない。(2) 奉仕事業においてクラブがその全責任を負わなければならない。(3) 奉仕活動を個人及びクラブの宣伝活動にしてはならない。しかし、地域社会に対して、ロータリーの精神を認識してもらい、それを拡大する方法として、有益な奉仕事業においてはクラブとしての実践例を広報しなければならない。(4) 他の団体との重複活動の禁止。(5) 現存している奉仕団体への協力。(6) その地域に即した新しい奉仕活動を開拓し、その活動に従事する専門団体を育成し、なるべく早い段階でその団体に活動を委譲すべきである。そして、その功績を自分の手柄にしてはならない。(7) 団体奉仕よりもロータリアン個々の力を発揮できる奉仕活動をすべきであり、それはロータリアン個人に奉仕の訓練を施すためのものである。

以上が決議23-34の解説であります。1923年のセントルイス大会で採択されたこの決議文は、その後、幾つかの修正を加えられながら手続要覧では「社会奉仕の部」に乗っております。しかし単に社会奉仕の指針にとどまらず、ロータリーの基本理念、奉仕哲学が記されたものであります。

米山学友の歴史について

米山奨学部門 カウンセラー補佐
松下 光春



米山奨学事業は日本のロータリアンが築き上げた国際平和に資する奉仕活動です。米山学友会とは、奨学期間を終了した元米山奨学生と現役奨学生によって組織される会で、日本に 25 団体、海外に 2 団体、計 27 団体があります。

ロータリアン皆様のご寄付によって勉学に専念し、日本社会への理解、人間関係を深めた学友たちの多くは、ロータリーの心を胸に、世界の各地で活躍しています。

米山奨学事業は、全国の合同事業となってから、2007 年で 50 年の節目です。全国のロータリアンの尽力で、1 万 3 千人もの留学生を学友として送り出しました。

学友の皆さんの中には、駐日大使となられた人、叙勲を受けた人、ロータリアンとしてガバナーになられた人、学術・研究分野に貢献された人、政治経済文化の懸け橋となられた人など、数多くの学友の方々があらゆる分野で世界の平和に貢献しています。

また、変わったところでは、学友が作ったロータリークラブ・台北東海 RC (1995 年) があり、日本語を公用語としています。

学友会組織の始まりは、台湾 1983 年、韓国 1989 年で、日本では 2580 地区、2750 地区（東京の 2 地区で）関東学友会として 1985 年に設立されたのが最初です。それから上記の通り、今までに 30 地区 25 団体となりました。

関西では、2640 地区、2650 地区、2660 地区、2680 地区の 4 地区で 1986 年に関西学友会として設立しました。その後、2640 地区は 1996 年に関西から独立して現在の 2640 地区学友会として発足しました。2640 地区から巣立った奨学生は 470 名です。

このように、多くの人材を日本国内はもちろん、世界の各地に巣立った学友諸氏の努力の成果がロータリアンの皆さんにより多くしることができるよう、学友会組織の向上に努めることが、私共米山部門の使命であります。

米山月間に寄せて



米山奨学事業委員長
米田眞理子

地区会員の皆様におかれましては、平素より財団法人ロータリー米山記念奨学会にご理解ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

(財)ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する、事業規模と採用数において日本の民間最大の奨学団体です。1952年に“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念して、東京ロータリー・クラブが、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め国際親善と交流を深めるために、優秀な留学生を支援し世界平和の創造と維持に貢献することを目的とした「米山基金」の構想を立て、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリー・クラブの共同事業となり、現在では日本ロータリー独自の「多地区合同奉仕活動」となっています。

目 的

ロータリー米山記念奨学会は将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学する事を目的としています。優秀とは ①「学業」に対する熱意や優秀性は勿論の事 ②「異文化理解」③「コミュニケーション能力」への意欲に優れている点が含まれます。

特 長

奨学金による支援だけでなくロータリー・クラブによる世話クラブとカウンセラー制度があります。米山奨学生は、毎月1回世話クラブの例会に出席しカウンセラーやロータリー・クラブ会員との心のふれあいを通して真の国際・文化交流及び相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心を共に学びます。

寄付金速報— 2007年度の予算、14億5千万円を目指して —

2007年度最初の月である7月の寄付金は約2億2千万円でした。前年度に比べて6.6%減、約1千5百万円の減少です。普通寄付金が5.2%減、特別寄付金が10.4%減と、やや厳しい滑り出しとなりました。とはいえ、2年前、9年ぶりに前年度実績を上回った2005年度も、今回と同じ約2億2千万円でスタートし、年度末には14億6千万円を達成しましたので、今年度も次月以降が期待されます。今年度の予算目標は前年と同じ、14億5千万円です。

2008 学年度の指定校が決定！

来年 4 月採用の指定校が、各地区米山奨学委員会からの報告により決定しました。2008 学年度の指定校は 407 校（前年度 399 校）で、被推薦者数は全国で 1,623 人。今後、12 月から来年 1 月末にかけて各地区で選考試験が実施され、新規採用 593 人（6 月現在）が合格します。今回、地区奨励奨学金を導入した地区は 6 地区（前年度 4 地区）で、5 校が新しく指定校に加わりました。また、今年は、高等専門学校専攻科（大学学部 3～4 年に相当）を指定校とした地区はありませんでした。

大学側へ提示する「(被推薦者の) 選考の目安」を明記した地区は 26 地区。多く挙げられたのは、「日本語運用能力」(15 地区) などですが、このほか、地区の方針を打ち出した好例として「水保全、識字率の低い 地方での教育者を目指す学生を」(第 2710 地区) という提示もありました。多く挙げられた基準は「国籍割合への配慮」、「日本語運用能力」、「ロータリー活動への理解、積極的参加」などです。2640 地区は地区にあるすべての大学を推薦枠にしています。今年度 7 月と 8 月にカウンセラー補佐・委員長・委員が各大学を訪問し、基準をご理解いただくべく担当者と面談して回りました。その折、生じた問題点を委員会で検討し選考に役立てたいと考えております。

ちょっと新しくなった『豆辞典』が登場します

毎年好評をいただいている米山月間資料、『米山奨学事業・豆辞典』を今年も発行します。今年は、これまでよりも縦長サイズにリニューアルして登場します。この『豆辞典』には、米山奨学会の財政や、いただいた寄付金の使途、新しくなった表彰制度や米山学友の情報が掲載されています。持ち運びに便利なポケットサイズの『豆辞典』は、会員の皆さまへの理解促進に必ず役立ちます。10 月の米山月間にはぜひお使いください。9 月中旬に全ロータリークラブに送付いたします。

2007 年 9 月 19・20 日 米山奨学生(学友生)と 1 泊 2 日で米山梅吉記念館を訪問いたします。往復のバスの中で、米山奨学事業の意義をさらに理解するように研修会を行います。

今後とも財団法人ロータリー米山記念奨学会へのご支援ご協力を切にお願い申し上げます。



新入会員紹介

8 月



たばた しずよ
田端 静代
所属クラブ：御坊RC
職業分類：卸売業（セメント建材他）
生年月日：1947年3月2日



おかだ まさふみ
岡田 昌文
所属クラブ：羽曳野RC
職業分類：金属加工
生年月日：1936年2月13日



おくの ひでとし
奥野 英俊
所属クラブ：阪南RC
職業分類：チェーン製造
生年月日：1940年7月27日



あさの やすゆき
浅野 恭行
所属クラブ：和泉RC
職業分類：産業機械製造
生年月日：1963年11月3日



きくもと しゅんじ
菊本 俊治
所属クラブ：海南RC
職業分類：電力供給
生年月日：1959年10月28日



きのした たもつ
木下 保
所属クラブ：貝塚コスモスRC
職業分類：建設請負業
生年月日：1967年3月7日



ふじわら しげる
藤原 茂
所属クラブ：岸和田RC
職業分類：新聞発行
生年月日：1952年10月31日



おおた かおる
大田 薫
所属クラブ：堺RC
職業分類：証券業
生年月日：1961年9月3日



てらさき かつひこ
寺崎 勝彦
所属クラブ：堺RC
職業分類：制御機器販売
生年月日：1942年1月30日



はら あつし
原 篤
所属クラブ：堺RC
職業分類：国際ホテル
生年月日：1942年12月6日



とうごう つよし
東郷 剛
所属クラブ：新宮RC
職業分類：電気供給
生年月日：1953年7月17日



ふじい たかし
藤井 貴
所属クラブ：高石RC
職業分類：ガス供給
生年月日：1955年12月20日



やそだ けいいち
八十日 啓一
所属クラブ：和歌山RC
職業分類：ガス供給
生年月日：1949年8月22日

訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



い せい としゆき
伊政 俊行 (有田南RC)

2007年8月23日死去

在籍期間：18年7ヶ月

職業分類：仏教

ポールハリスフェロー：2回

米山功労者：6回

生年月日：1935年2月23日



PHF・ベネファクター（8月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
國下 博		藤井寺しゅら	坂口 導功	BE	和歌山北
小池 忠男	4	富田林	山崎 吉博	1	和歌山中
川吉 史郎	2	富田林南	市川 正夫	BE	和歌山東南

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

米 山 功 労 者（8月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
竹中 栄治	7	羽曳野	河村 義信	6	富田林
柳川 弘	4	那智勝浦	小池 忠男	6	富田林
脇村 利恵子	3	堺西	中村 幸吉	4	富田林
浅香 公子	1	堺おおいずみ	豊田 圭郎	3	富田林
玉置 英人	3	田辺	佃 光	1	富田林

ハイライトよねやま 91号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

.....
:: 今月のトピックス ::



2007年9月12日発行

-
1. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —
 2. 理事会・評議員会開催報告 — 役員改選で、新理事長就任 —
 3. 中国の学友から50万円の寄付 【米山学友 姫 軍さん】
 4. 訃報 元米山理事の衣笠秀夫氏 逝去
 5. 米山月間のための資料を送付します

40周年記念オリジナル切手シートは完売しました

文庫通信 (241号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

米山月間にあたって

- ◎「ロータリー・クラブ」 米山梅吉 1929 20p
- ◎「国際ロータリーの組織に就て」 米山梅吉 1931 8p
- ◎「八十五年前の日本・明治初期の海外留學生と男爵團琢磨」 米山梅吉
（「看雲録」より） 1938.10 10p
- ◎「人と為り」 米山梅吉 （「提督ペルリ」より） 1923 5p
- ◎「ポールハリスと父米山梅吉」 米山桂三 東京世田谷 R.C. 1977 6p
- ◎「ロータリーと父 米山梅吉」 米山桂三 東京南 R.C. 1972 8p
- ◎「米山梅吉伝」 長井盛至 米山記念館 1975 6p
- ◎「米山梅吉と雑誌『えいさい穎才新誌』『太陽』」 井口賢明
（米山梅吉記念館館報 Vol.9） 2007 2p
- ◎「米山梅吉と「新隠居論」掲載誌『実業之日本』」 井口賢明
（米山梅吉記念館館報 Vol.10） 2007 5p

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



第2640地区 出席報告 (2007年8月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	8月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	8月出席率	平均出席率
	07.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計					07.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計			
有田	37	37	0	0	0	0	4	85.58	86.24	大阪狭山	5	5	0	0	0	0	4	85.00	85.00
有田南	38	37	0	0	1	1	3	93.75	92.82	りんくう泉佐野	26	26	0	0	0	0	4	91.38	82.90
有田2000	20	20	0	0	0	0	4	73.75	76.25	堺	77	81	3	4	0	0	4	87.00	87.75
藤井寺	12	12	0	0	0	0	3	94.43	96.86	堺東	33	33	0	0	0	0	3	98.85	98.56
藤井寺しゅら	16	16	0	0	0	0	4	86.00	90.00	堺北西	14	14	0	0	0	0	3	76.92	75.38
御坊	55	56	1	1	0	0	5	89.20	87.46	堺泉ヶ丘	23	25	0	2	0	0	3	93.06	94.79
御坊東	20	20	0	0	0	0	4	88.75	86.25	堺北	37	37	0	0	0	0	4	73.39	74.20
御坊南	33	33	0	1	1	1	3	86.77	87.93	堺南	37	37	0	0	0	0	3	85.42	86.46
羽曳野	29	34	1	6	0	1	4	97.00	94.60	堺中	30	30	0	0	0	0	4	65.07	65.41
羽衣	24	24	0	0	0	0	4	76.04	76.04	堺南西	5	5	0	0	0	0	4	80.00	80.00
阪南	15	15	1	1	1	1	4	100	98.34	堺西	25	26	0	1	0	0	4	87.50	88.13
橋本	55	55	0	1	0	1	4	93.50	91.23	堺おおいずみ	32	33	0	1	0	0	4	83.34	87.50
橋本紀ノ川	22	24	0	2	0	0	3	83.30	96.20	堺フェニクス	22	22	0	0	0	0	4	70.00	71.88
岩出	29	29	0	0	0	0	4	91.38	94.40	堺清陵	24	24	0	0	0	0	4	95.45	94.89
和泉	39	40	1	1	0	0	4	79.01	79.21	堺泉北	12	12	0	0	0	0	3	85.77	86.45
和泉南	35	37	0	2	0	0	4	58.33	59.57	堺東南	14	14	0	0	0	0	4	81.82	81.82
泉大津	50	52	0	2	0	0	4	81.52	81.79	泉南	23	23	0	0	0	0	4	78.57	79.76
泉佐野	34	34	0	1	0	1	4	91.97	91.08	新宮	59	60	1	2	0	1	4	84.17	84.28
海南	45	47	1	2	0	0	4	70.21	74.90	白浜	17	17	0	0	0	0	3	100	100
海南東	69	69	0	0	0	0	3	84.80	84.31	忠岡	15	15	0	0	0	0	4	67.31	63.47
海南西	24	25	0	1	0	0	4	87.00	84.50	太子	6	6	0	0	0	0	3	83.30	76.18
貝塚	20	22	0	2	0	0	3	98.48	98.33	高石	30	31	1	1	0	0	3	71.79	75.40
貝塚コスモス	21	22	1	1	0	0	4	84.09	86.09	高師浜	21	21	0	0	0	0	4	85.00	83.23
関西国際空港	35	36	0	1	0	0	5	69.52	67.02	田辺	85	84	0	0	0	1	4	90.85	90.60
河内長野	31	30	0	0	0	1	4	78.10	80.00	田辺はまゆう	39	41	0	2	0	0	3	74.80	76.73
河内長野東	26	27	0	1	0	0	4	90.00	88.13	田辺東	50	51	0	1	0	0	4	97.95	98.83
岸和田	54	54	1	1	0	1	4	81.09	82.38	富田林	37	38	0	1	0	0	4	76.85	76.60
岸和田東	56	56	0	0	0	0	4	93.50	90.25	富田林南	21	21	0	0	0	0	4	89.06	89.06
岸和田北	31	31	0	0	0	0	3	93.10	94.08	和歌山	73	75	1	2	0	0	3	82.71	83.74
岸和田南	21	21	0	0	0	0	4	86.91	90.48	和歌山アゼリア	44	43	0	0	1	1	3	74.41	77.26
粉河	23	23	0	0	0	0	4	94.56	94.56	和歌山東	58	58	0	0	0	0	4	91.80	92.90
高野山	25	25	0	0	0	0	4	83.00	81.00	和歌山城南	39	40	0	1	0	0	4	90.97	89.58
串本	10	10	0	0	0	0	3	76.67	73.75	和歌山北	47	47	0	0	0	0	3	76.74	78.49
松原	39	38	0	0	0	1	3	80.56	82.21	和歌山南	87	89	0	2	0	0	4	81.91	85.53
松原中	23	23	0	0	0	0	4	79.76	79.76	和歌山中	32	32	0	0	0	0	4	78.85	78.85
美原	24	23	0	0	1	1	4	90.50	90.50	和歌山西	20	20	0	0	0	0	4	94.74	94.74
那智勝浦	20	20	0	0	0	0	4	67.11	71.72	和歌山東南	39	39	0	0	0	0	4	86.49	86.49
大阪金剛	30	30	0	0	0	0	4	79.18	79.58										

クラブ	8月1日クラブ会員数				8月末クラブ会員数				8月平均出席率	入会		退会	
	男性	2313	女性	135	男性	2350	女性	132		8月	累計	8月	累計
75	2448				2482				84.22	13	47	5	13

10月 職業奉仕月間・米山月間

1日	(月)	公式訪問:和歌山アゼリアRC(昼)	アパローム紀の国
2日	(火)	公式訪問:田辺はまゆうRC(夜)	闘鶏神社
3日	(水)	公式訪問:新宮RC(昼)	新宮商工会議所
4日	(木)	公式訪問:那智勝浦・串本RC(昼)	勝浦シティプラザホテル
5日	(金)	公式訪問:高野山RC(昼)	花菱
6日	(土)	GSE送出し(10/6~11/3)	
7日	(日)		
8日	(月)		
9日	(火)	公式訪問:有田南RC(昼)	湯浅水産物商業協同組合
10日	(水)	公式訪問:貝塚コスモスRC(昼) 公式訪問:りんくう泉佐野RC(夜)	産業文化会館 全日空ゲートタワーホテル
11日	(木)	公式訪問:有田RC(昼) 公式訪問:和歌山南・和歌山城南RC(夜)	紀州有田商工会議所 ダイワロイネットホテル
12日	(金)		
13日	(土)	2007~2008年度長期受入学生への第2回オリエンテーション・1泊研修(13-14日) 2008~2009年度長期派遣学生への第1回オリエンテーション・1泊研修(13-14日) 2008~2009年度長期派遣学生への申請書記入指導(13-14日)	リーガランドホテル
14日	(日)	↓ IM5組(ホスト:松原中RC)	すばるホール
15日	(月)		
16日	(火)	公式訪問:貝塚RC(昼) 公式訪問:藤井寺RC(夜)	産業文化会館 藤井寺商工会館
17日	(水)	公式訪問:田辺東RC(昼) 公式訪問:有田2000RC(夜)	きのくに信用金庫 吉備インターゴルフセンター
18日	(木)	公式訪問:高師浜RC(昼) 公式訪問:堺清陵RC(夜)	ホテルサンルート関空 ホテル第一堺
19日	(金)	公式訪問:美原RC(昼)	ウッドリウム大阪
20日	(土)	IM3組(和歌山中RC)	県民文化会館 小ホール
21日	(日)	第1回地区青少年・ライラ委員会会議、第1回ライラキーマン会議 ローターアクト 2660 地区との交流会	テクスピア大阪
22日	(月)		
23日	(火)	公式訪問:岸和田北RC(昼)	泉州ビル
24日	(水)	公式訪問:堺中RC(夜)	サンパレス
25日	(木)	公式訪問:和泉南RC(夜)	ホテルレイクアルスター
26日	(金)	公式訪問:岸和田東RC(昼)	岸和田グランドホール
27日	(土)	堺おおいずみRC創立23周年記念例会 堺北西・南西RC創立15周年合同記念例会	リーガロイヤルホテル堺 ホテル第一堺
28日	(日)		
29日	(月)	公式訪問:堺南RC(昼)	リーガロイヤルホテル堺
30日	(火)	公式訪問:松原RC(昼)	松原商工会議所
31日	(水)		



国際ロータリー第2640地区
ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L http://www.rid2640g.org/hirahara/

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 宇田 勝彦

事務職員 山本千恵子 平田有紀子